

[様式 1]

令和 6 年度 三 好 市 立 学 校 評 価 報 告 書

学校名(山城中学校)

作成日 令和7年3月17日

校長名(井 手 智)

1 総括評価

評 価 分 野	自己評価 (平均値)	自 己 評 価 結 果 の 概 要	学 校 関 係 者 評 価 の 概 要	次 年 度 の 改 善 策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.3	全教職員がベクトルを一つにし、教育目標の具現化に向けて意欲的に教育活動に取り組むことができた。保護者の理解も得られた。	教職員一丸となって、学校運営にあたっている。地域の特性を生かした学校づくりを継続してほしい。	めざす学校像、めざす生徒像、めざす教職員像をよりわかりやすく提示し、教育目標の具現化を図る。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.2	目標を可視化することで、生徒が「なりたい自分」をイメージしやすくなった。教職員も意識しながら様々な教育実践を行うことができた。	教室や廊下の掲示から、生徒の学びの跡がよくわかる。また、生徒の良さを認め合える工夫もある。	各活動の目的を生徒教職員で共通理解し、振り返りをする等して、生徒の成長につなげる。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.2	丁寧な授業づくりを実践したことで、生徒のほとんどが授業がわかりやすいと感じている。健康・安全面での指導に工夫が必要である。	ICTを効果的に利用し、わかりやすい授業が展開されている。メディアに対する正しい向き合い方について引き続き指導してほしい。	教職員のためにICT研修をもち、授業力向上につなげる。外部機関を活用し、メディアとの正しい付き合い方について指導していく。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.4	適切な量のPTA活動ができた。また、地域合同防災訓練やふさと学習等、地域と連携した特色ある活動ができた。	学校ホームページや学年だより等を通して、学校の様子がわかりやすく発信されている。地域の伝統を生徒に引き継いでほしい。	学校、保護者、地域をつなぐ持続可能な活動を展開するために、コミュニティスクールの活性化を図る。
⑤ その他、上記以外に関する評価 (学校安全、ICTの活用等)	3.3	校舎内外の安全点検を実施することで、修繕箇所や危険箇所の確認ができた。	生徒の安全を最優先し、必要に応じて修繕してほしい。	安全点検を行い、危険箇所については委員会と連携しながら早めに対応する。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4＝達成度が 90～100 %
3＝達成度が 70～ 90 %
2＝達成度が 50～ 70 %
1＝達成度が 50% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)～(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとする。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事から記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。